

## 臨床認知症評価法 - 日本版 (CDR - J) ワークシート

Translated and Adapted by Morihiro Sugishita and Katsutoshi Furukawa (2008) from the Clinical Dementia Rating (CDR) (1993). Reprinted with permission. The Clinical Dementia Scale (CDR) is a copyrighted instrument of the Alzheimer's Disease Research Center, Washington University, St. Louis, Missouri, USA. All rights reserved.

この面接は半構造面接です。以下の質問をすべて行って下さい。被験者の臨床認知症評価法-日本版 (CDR-J) を確定するために必要な追加質問をして下さい。追加質問から得られた情報を記録して下さい。

### 情報提供者用 被験者の記憶についての質問

1. 「被験者は、記憶したり、考えたりすることに、問題がありますか？」 (情報提供者が誰であるかによって、被験者の部分を御主人、奥様、お父様などに変える。)  はい  いいえ
- 1a. 「はい」の場合、「その問題は常に (“常に” は “断続的に” に対立する) 存在する問題ですか？」  はい  いいえ
2. 「被験者は、最近の出来事を思い出すことが出来ますか？」  
 たいていの場合、出来る  時々、出来る  めったに、出来ない
3. 「被験者は、買い物のための、短い品物のリストを記憶することが出来ますか？」  
 たいていの場合、出来る  時々、出来る  めったに、出来ない
4. 「過去1年間に、記憶が衰えましたか？」  はい  いいえ
5. 「被験者の記憶障害の程度は、2、3年前ならちゃんとやっていた日常生活の活動 (あるいは、定年前の活動) を妨げるほどひどいですか？」 (親、配偶者、子、血縁の介護者などのうちの複数からの意見に基づき評価して下さい。)  はい  いいえ
6. 「被験者は、大きな出来事 (旅行、パーティー、家族の結婚式など) を、数週間もしないうちに完全に忘れてしまいますか？」  
 たいていの場合、忘れてしまう  時々、忘れてしまう  めったに、忘れない
7. 「被験者は、その大きな出来事に関連のある細々した事を忘れていませんか？」  
 たいていの場合、忘れている  時々、忘れている  めったに、覚えていない
8. 「被験者は、遠い昔の重要な情報 (生年月日、結婚した日、勤務先など) を完全に忘れていませんか？」  
 たいていの場合、忘れている  時々、忘れている  めったに、覚えていない
9. 「被験者に最近起こった出来事で、被験者が覚えているはずの出来事について教えて下さい。」 [後で検査しますので、その出来事の詳細 (出来事の場所、時刻、当事者、その出来事はどのくらいの間続いたか、いつ終わったか、被験者あるいは出来事の他の当事者がどのようにしてその場所に到着したか) を入手して下さい。]

1週間以内の出来事

1ヶ月以内の出来事

10. 「被験者はいつ生まれましたか？」

11. 「被験者はどこで生まれましたか？」

12. 「被験者が、最後に通っていた学校は何という学校ですか？」

学校の名前

学校の場所

学校を終了した時の学年

13. 「被験者の、主な職業は何でしたか？」（もし、被験者が就職したことがなければ、「配偶者（妻/夫）の主な職業は何でしたか？」）

14. 「被験者の、最後の主な就職先はどこでしたか？」（もし、被験者が就職したことがなければ、「配偶者（妻/夫）の最後の主な就職先はどこでしたか？」）

15. 「被験者（または配偶者）は、いつ退職しましたか？」 「なぜ、退職したのですか？」

## 情報提供者用 被験者の見当識についての質問：

以下の事柄について被験者が正確に知っている頻度はどれくらいですか：

1. 「今日は何日か知っていますか？」  
たいていの場合、知っている 時々、知っている 知っていることはめったにない 不明
2. 「何月か知っていますか？」  
たいていの場合、知っている 時々、知っている 知っていることはめったにない 不明
3. 「何年か知っていますか？」  
たいていの場合、知っている 時々、知っている 知っていることはめったにない 不明
4. 「何曜日か知っていますか？」  
たいていの場合、知っている 時々、知っている 知っていることはめったにない 不明
5. 「被験者は、出来事の時間的前後関係を間違えることがありますか？」(複数の出来事が互いに関係を持って起こる時)  
たいていの場合、間違える 時々、間違える 間違えることはめったにない 不明
6. 「被験者は、よく知っている通りでは、迷わずに行けますか？」  
たいていの場合、行ける 時々、行ける 行けることはめったにない 不明
7. 「被験者は、近所より遠い所で、ある場所から別の場所へ、どのようにしたらたどり着けるか知っていますか？」  
たいていの場合、知っている 時々、知っている 知っていることはめったにない 不明
8. 「被験者は、家の中で、自分でどこへでも行けますか？」  
たいていの場合、行ける 時々、行ける 行けることはめったにない 不明

情報提供者用 被験者の判断力と問題解決能力についての質問：

1. 「被験者の現在の問題解決能力を評価しなければならない場合、一般的に、被験者の問題解決能力をどう思いますか？」
  - 今までと同じくらい良好
  - 良好であるが、以前と同様に良好というわけではない
  - まあまあ
  - 劣る
  - 問題解決能力がまったくない
  
2. 「少額の金銭をうまく処理する被験者の能力（例えば、両替、お釣りの暗算など）を評価して下さい。」
  - 低下なし
  - 多少低下
  - 著しい低下
  
3. 「複雑な金銭上の取引および商取引に対処する被験者の能力（例えば、銀行などの口座の収支の帳尻を合わせる、請求書に見合う金額を支払う）を評価して下さい。」
  - 低下なし
  - 多少低下
  - 著しい低下
  
4. 「被験者は、家の中での緊急事態【例えば、水道や下水の水漏れ、小さな火事（ぼや）】に対処することが出来ますか？」
  - 以前と同様によく対処出来る
  - 考える力に問題があるため、以前より悪い
  - 考える力に問題があるという以外の理由のため、以前より悪くなっている（理由を記述する）

---

---

---

5. 「被験者は、状況や説明を理解することが出来ますか？」
  - たいていの場合、理解出来る
  - 時々理解出来る
  - めったに理解出来ない
  - 不明
  
6. 「被験者は、社会的状況や他の人々との交際において、適切に振舞って\*いますか？」 [適切とは、被験者の通常の（病前の）振舞い方]
  - たいていの場合、適切に振舞える
  - 時々適切に振舞える
  - 適切に振舞えることはめったにない
  - 不明

---

\*この項目は行動を評価するのであって、外見を評価するのではない。

情報提供者用 被験者の地域社会の活動についての質問：

### 職業

1. 「被験者は、今でも働いていますか？」

はい  いいえ  該当せず

「該当せず」の場合は4へ進む

「はい」の場合は3へ進む

「いいえ」の場合は2へ進む

2. 「記憶あるいは考える力に問題があり、それが、被験者が仕事を辞める決心をした原因の一つですか？」 (次は4に進む)

はい  いいえ  不明

3. 「被験者は、記憶あるいは考える力に問題があるため、仕事をするのが著しく困難ですか？」

めったに、あるいは一度も、著しく困難なことはない  時々、著しく困難である  たいていの場合、著しく困難である  不明

### 社会

4. 「被験者は今までに車を運転したことがありますか？」

はい  いいえ

「被験者は現在、車を運転していますか？」

はい  いいえ

「運転していない場合、それは記憶や考える力に問題があるためですか？」

はい  いいえ

5. 「被験者が今でも運転している場合、考える力の低下のために、運転すると問題や危険がありますか？」

はい  いいえ

\*6. 「必要な品物を自分で買うことができますか？」

めったに出来ない、あるいは、一度も出来ない (どんな買い物でも誰かが付いている必要がある)

時々出来る (少数の品物なら自分で買える ; 同じ品物を二重に買ったり、あるいは必要な品物を買  
い忘れる)

たいていの場合、出来る

不明

7. 「被験者は家庭外の活動を自分で行うことができますか？」

めったに出来ない、あるいは、一度も出来ない (普通は、他者の助けなしには出来ない)

時々出来る (限定された活動と決まりきった活動の両方あるいはどちらか一方。例えば、法事や会  
合への表面的な参加、美容院へ行くなど)

たいていの場合、出来る (諸活動への有意義な参加、例えば、投票)

不明

8. 「被験者は家庭外の社交的な集まりへ連れていってもらっていますか？」

はい  いいえ

「いいえ」の場合、「それはなぜですか？」 \_\_\_\_\_

9. 「もし、ある人が被験者の行動を偶然観察したとすると、その人は被験者を「病気」だと思いませんか？」  
□はい □いいえ

10. 「被験者が養護施設に入所している場合、被験者は社会的な集まり（知的なもの）に十分に参加していますか？」  
□はい □いいえ

**重要：**

「社会活動における被験者の障害の程度を評価するのに使用できる情報が十分ありますか？」

十分な情報がない場合は、さらに調査して下さい。

地域社会の活動：「お寺、神社、教会などに行く」「友人あるいは親類を訪問する」「政治的活動」「弁護士会のような職能団体」「その他の専門家集団」「社交クラブ」「サービス団体」「教育プログラム」など。

---

\*社会活動における被験者の機能レベルを明らかにするために必要な場合は、メモを加えて下さい。

# 臨床認知症評価法 – 日本版 (CDR - J) ワークシート

情報提供者用 被験者の家庭および趣味についての質問

1a. 「被験者の家事を行なう能力にどんな変化が起きましたか？」 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

1b. 「家事で、被験者がまだ上手に出来るものは何ですか？」 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

2a. 「被験者の趣味を行う能力に、何か変化が起きましたか？」

2b. 「被験者の趣味で、被験者がまだ上手に出来るのは何ですか？」

3. (被験者が養護施設に入所している場合、) 「家事および趣味に関して、被験者がもはや上手に出来なくなったことは何ですか？」

日常の活動 [Blessed, G(1968) の認知症尺度 ]:

	損失なし		著しい損失
4. 家事を行う能力	0	0.5	1

詳しく説明して下さい:

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

5. 「被験者はどのレベルで家事を行なうことが出来ますか？」  
(次の中から1つ選びなさい。情報提供者に直接尋ねるとは限らない。)

- 意味のある機能はない  
(たくさん指図が受けられる時のみ、布団を敷くというような単純作業を行える)
- 限定された活動においてのみ機能する  
(指図が受けられると、満足できる程度の清潔さで食器を洗える、食器を並べられる、など)
- いくつかの活動において自立して機能する  
(掃除機のような器具を操作する、簡単な食事の準備をする)
- 通常の活動で機能できるが、以前の正常なレベルと比較すると劣っている
- 通常の活動において正常に機能する

## 重要:

「家庭や趣味における被験者の障害レベルを評価するのに利用できる情報が十分ありますか？」  
もし、十分な情報がない場合は、さらに調査して下さい。

家事作業: 料理、洗濯、掃除、食料雑貨の買物、ゴミ出し、庭仕事、家の中の簡単な手入れや保守、初歩的な家の修理など。

趣味: 裁縫、絵を描く、手工芸、読書、接待、写真、ガーデニング、芝居を見にいたり音楽を聴きにいたりする、木工、スポーツへの参加。

# 臨床認知症評価法 – 日本版 (CDR - J) ワークシート

情報提供者用 被験者の身の回りの世話についての質問：

\*以下の領域における被験者の精神能力についてのあなたの評価はどのようなものですか：

	助けなしで可能	たまにボタンの掛け違いなど	着る順序の間違いよく着忘れする**	服を着ることが出来ない
A. 服を着る [Blessed, G(1968) の認知症尺度]：	0	1	2	3

	助けなしで可能	促しが必要	時々、助けが必要	常に、あるいはほぼ常に助けが必要
B. 洗う（顔、手、体など）、身だしなみを整える	0	1	2	3

	きれいに食べる；食卓用器具***の適切な使用	散らかして食べる；スプーンのみ使用	単純な固形物****	完全な食事介助が必要
C. 食事習慣	0	1	2	3

	正常で完全なコントロール	たまに尿失禁する	頻繁に尿失禁する	尿失禁
D. 括約筋のコントロール (Blessed, 1968)	0	1	2	3

\* 促しを受けなかったとしても、被験者の身の回りの世話が以前のレベルより障害されている場合は、box 得点1と見なされる。

\*\*下着を着るのを忘れるなど \*\*\*箸、スプーン、フォーク\*\*\*\* たとえば、ビスケット

# 臨床認知症評価法 – 日本版 (CDR-J) ワークシート

被験者用 記憶についての質問：

1. 「あなたは、記憶したり考えたりすることについて、問題がありますか？」 □はい □いいえ
2. 「先程、あなたの（御主人あるいは、奥様など）が、あなたが最近経験した出来事を二つ三つ話してくれました。それらの出来事について話して下さい。」（もし、必要なら、出来事が起こった場所、時間、当事者、その出来事がどのくらい続いたか、その出来事がいつ終り、本人や、他の関わった人々が、どうやってその場所に行ったかなど、出来事の詳細について話すように促す。）

1週間以内

- 1.0－ ほとんど正答  
0.5  
0.0－ ほとんど誤答

1ヶ月以内

- 1.0－ ほとんど正答  
0.5  
0.0－ ほとんど誤答

3. 「今から、人の名前と、住所を言いますから、2、3分の間、覚えておいて下さい。私の後に続けて、名前と住所を言って下さい。」（名前と住所が正しく言えるまで、あるいは、最高3回まで繰り返して下さい。）

要素

1	2	3	4	5
<u>木村</u>	<u>三郎、</u>	<u>神戸市</u>	<u>海岸通り</u>	<u>42番地</u>
木村	三郎、	神戸市	海岸通り	42番地
木村	三郎	神戸市	海岸通り	42番地

(各試行で、正しく言えた要素に下線を引いて下さい。)

4. 「あなたはいつ生まれましたか？」
5. 「あなたはどこで生まれましたか？」
6. 「あなたが最後に通った学校を教えてください。」  
学校名 \_\_\_\_\_  
学校の住所 \_\_\_\_\_ 学校を終了した時の学年 \_\_\_\_\_
7. 「あなたが主に従事していた職業は何ですか？」（就職したことがない場合は、配偶者が主に従事していた職業）
8. 「あなたが最後に就いた主な職業は何ですか？」（就職したことがない場合は、配偶者が最後に就いた主な職業）
9. 「あなた（または、配偶者）は、いつ退職しましたか？また、なぜ退職したのですか？」
10. 「先程、あなたに覚えてもらった名前と住所を言って下さい。」

要素

1	2	3	4	5
木村	三郎	神戸市	海岸通り	42番地

(正しく答えられた要素に下線を引いて下さい。)

# 臨床認知症評価法 - 日本版 (CDR - J) ワークシート

## 被験者用 見当識についての質問

各質問について被験者が言ったとおりに記録して下さい。

1. 「今日は何日ですか？」  正答  誤答

---

2. 「今日は何曜日ですか？」  正答  誤答

---

3. 「何月ですか？」  正答  誤答

---

4. 「何年ですか？」  正答  誤答

---

5. 「ここは何という場所（病院、施設）ですか？」  正答  誤答

---

6. 「ここは何という町、あるいは、市ですか？」  正答  誤答

---

7. 「今、何時ですか？」  正答  誤答

---

8. 「被験者は、情報提供者が誰だか知っていますか？」（あなたの判断で）  正答  誤答

---

# 臨床認知症評価法 – 日本版 (CDR - J) ワークシート

## 被験者用 判断力と問題解決に関する質問：

教示：被験者による最初の反応が0点に値しない場合は、被験者が問題をどこまで理解しているか念を入れて確認して下さい。一番近い反応に丸を付けて下さい。

### 類似点：

例：「鉛筆とペンとではどんな所が似ていますか？」（物を書く道具）

「次の2つの物ではどんな所が似ていますか？」

被験者の回答

1. カブ.....白菜  
(0 = 野菜)  
(1 = 食品、生き物、料理できるなど)  
(2 = 関係がない答、違いを言う、それらを買う)
2. 机.....本箱  
(0 = 家具、事務用品、どちらも本を置ける)  
(1 = 木製、脚がある)  
(2 = 関係がない答、違いを言う)

### 相違点

例：「砂糖とお酢とではどんな所が違いますか？」（甘いものに対して、酸っぱいもの）

「次の2つの物ではどんな所が違いますか？」

3. 嘘.....間違い  
(0 = 嘘はわざとつくもの、間違いは意図しないもの)  
(1 = 一方は悪いもので他方は良いもの、あるいは、一つだけを説明する)  
(2 = 上記以外の事を言う、類似点を言う)
4. 川.....運河  
(0 = 「自然な」に対して「人工的な」)  
(2 = 上記以外の事を言う)

### 計算：

5. 「100円は、5円玉にすると何枚ですか？」 **20**  正答  誤答
6. 「1350円は、50円玉で何枚ですか？」 **27**  正答  誤答
7. 「20から3を引いて、その答えからまた、3を引くというようにずっとやって下さい。」  正答  誤答  
**20, 17, 14, 11, 8, 5, 3**

### 判断力：

8. 「今まで来たことのない町に来たとします。あなたが会いたいと思っている友達の居る場所を、あなたは どうやって見付けますか？」  
(0 = 電話帳で探してみる。住所録を見るために市役所（町役場、村役場など）に行く。共通の友人に電話をかける。)  
(1 = 警察に電話をかける。電話局の番号案内係に電話をかける（通常、番号案内係は住所を教えない。）。)  
(2 = 明解な返答なし)
9. 被験者の障害および地位についての評価、および、被験者がこのような検査を受けている理由についての被験者の理解（他の部分で扱ったかも知れませんが、ここで評価して下さい）。

優れた洞察  部分的な洞察  ほとんど洞察なし

# 臨床認知症評価法 – 日本版 (CDR-J)

得点

Sum of Boxes

  . 

Global CDR

 . 

## 障害

得点	なし 0	疑わしい 0.5	軽度 1	中等度 2	重度 3
記憶	記憶障害なし、あるいは、軽度の断続的な物忘れ。	軽度の物忘れが常に存在。出来事を部分的に思い出す。“良性”健忘。	中等度の記憶障害。障害は最近の出来事についてより著しい。障害は日々の活動を妨げる。	重度の記憶障害。十分に学習したことのみ保持。新しいことは急速に記憶から消失。	重度の記憶障害。断片的なことのみ記憶に残存。
見当識	十分に見当識がある。	時間的前後関係に軽度の困難があることを除き、十分に見当識がある。	時間的前後関係に中等度の困難がある。検査の場所についての見当識は正常。他の場所についての地理的見当識障害があるかもしれない。	時間的前後関係に重度の困難がある。たいていの場合、時間的見当識は障害され、地理的見当識もしばしば障害される。	自分についての見当識のみが保たれている。
判断力と問題解決能力	日常の問題を解決し、工作上および金銭上の問題を十分処理できる。過去の実績と比較して、遜色のないすぐれた判断力。	問題解決、類似点および相違点に軽度の障害がある。	問題解決、類似点および相違点に中等度の困難がある。たいていの場合、社会的判断力は保持されている。	問題解決、類似点および相違点に重度の障害。たいていの場合、社会的判断力は障害されている。	判断あるいは、問題解決が出来ない。
地域社会の活動	仕事、買い物、ボランティア、社会集団において、通常のレベルでは自立して機能する。	左記の活動に軽度の障害がある。	左記の活動のいくつかに、まだたずさわっているかもしれないが、自立して機能出来ない。通り一遍の検査だと正常そうに見える。	家庭外において、自立して機能するようには見えない。 家庭外の会合に連れて行ってもらえるくらい健康そうに見える。	家庭外の会合に連れて行ってもらうには、具合が悪すぎるように見える。
家庭および趣味	家庭生活、趣味および知的興味の十分な保持。	家庭生活、趣味および知的興味は軽度に障害されている。	家庭における機能は軽度だが明確に障害されている。より困難な家事はやめている。より複雑な趣味や興味の喪失。	単純な家事のみの維持。非常に限られた興味が不十分に保持されている。	家庭において、重要な機能が果たせない。
身の回りの世話	自分の面倒は自分で十分みることができる。		促すことが必要。	着衣、衛生、身の回りの品の保管などに手伝いが必要。	身の回りの世話において、多くの助けが必要。頻繁に失禁がある。

※認知機能の損失によって生じた、以前の通常レベルからの衰退だけに得点を与える。認知機能の損失以外の要因(身体的な障害等)によって生じた障害に得点は与えない。